

令和4年度

第1回市政改革推進市民委員会

令和4年6月29日(水)15時～

市政改革推進市民委員会とは

行財政改革という視点で、市の取り組みに対して市民目線でのご意見をいただきます。

- 【内容】 ・ 鳥取市市政改革プランの進捗状況についての評価
・ 行財政改革の推進に関する重要事項についての調査、審議
- 【任期】 委嘱の日（令和4年6月29日）から令和6年3月31日まで
- 【会議】 任期中11回を予定、1回2時間程度
- 【報酬】 委員会出席1回につき5,000円（うち300円は源泉徴収）

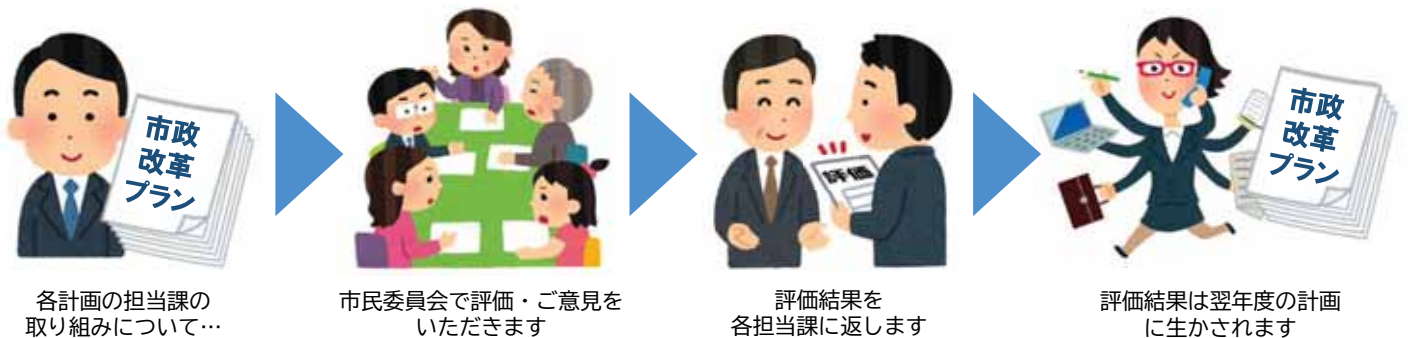
具体的に何をやるの？

- 鳥取市市政改革プランの二次評価
- 報告書の作成、提出（2年間の任期の最後）

3

鳥取市市政改革プランの二次評価

各計画の取り組みについてご意見をいただきます。
あわせて担当課が行った内部評価の妥当性を評価します。



4

市政改革プランの二次評価

令和3年度の市民委員会のように



5

報告書の作成、提出

2年間の活動を報告書にまとめ、市長に提出いただきます



6

市政改革プランについて

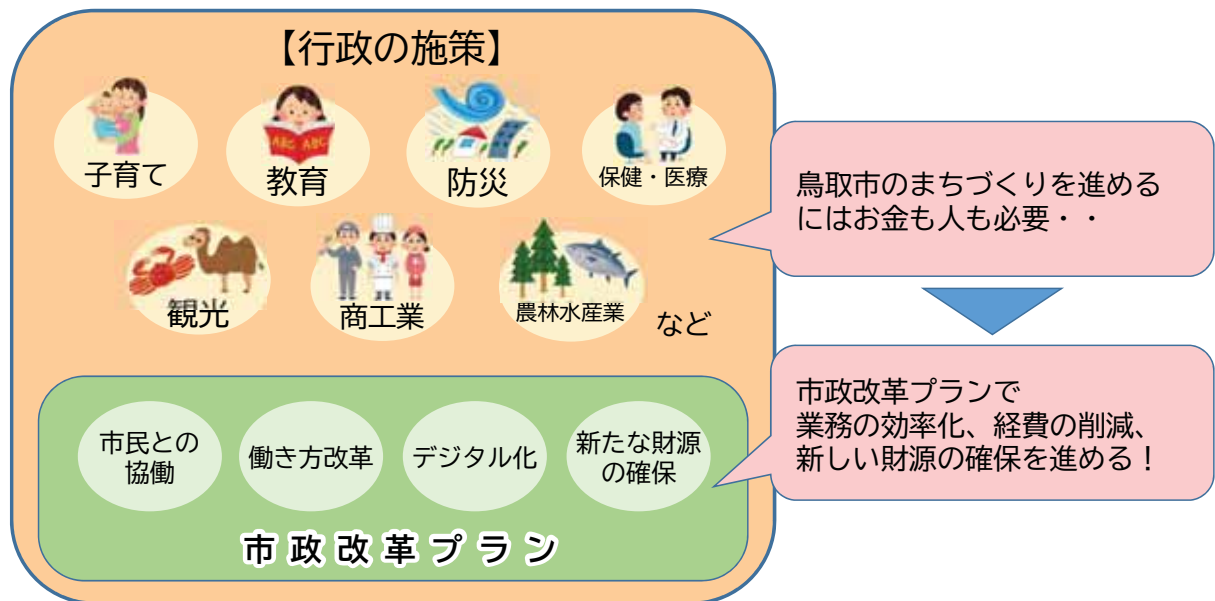
背景（鳥取市の現状）

※R4.4作成「みんなで考えよう 明るい未来
鳥取市のまちづくりデータブック」より

● 少子高齢化と人口減少	平成22年（2010年）		令和2年（2020年）		令和12年（2030年）
総人口	197,449人	➔	188,465人	➔	178,157人
高齢化率（65歳以上の割合）	23.2%	➔	29.7%	➔	33.1%
生産年齢人口（15～64歳）	124,586人	➔	108,270人	➔	97,647人
年少人口（0～14歳）	27,085人	➔	24,142人	➔	21,476人
児童生徒数（小・中学生）	15,834人	➔	14,287人	➔	12,617人
要介護認定者数	8,794人	➔	11,014人	➔	13,476人
● 財政状況	平成22年（2010年）		令和2年（2020年）		令和12年（2030年）
【歳入の減少】市税	238.3億円	➔	235.9億円	➔	236億円
実質的な地方交付税	294.7億円	➔	253.6億円	➔	250億円
【歳出の増大】介護給付費	133億円	➔	174億円	➔	208億円
築30年を超える公共施設の床面積割合	30%	➔	53%	➔	80%

※鳥取市のまちづくりデータブック概要版等から抜粋

市政改革プランの位置付け



9

市政改革プランの方針

●目的

『質の高い市民サービスの提供と効率的な行政経営の両立』

●目的実現のための3つの改革の柱

柱1 多様化する市民ニーズへ対応するための協働・連携体制の強化

柱2 時代の変化に即応できる組織体制の構築

柱3 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立

●計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

●総合目標

財政調整基金及び減債基金の合計残高を、標準財政規模の1割(50億円)以上確保する

10

市政改革プラン実施計画について

柱1 多様化する市民ニーズに対応するための協働・連携体制の強化

施策	細施策	実施計画の主な取り組み
市民と共に目指す満足度の高い行政サービスの実現	市民ニーズに沿った行政サービスを提供できる仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区公民館の地域運営（希望する地区での指定管理者制度の活用等） ・ 地域住民との連携による公共交通の維持・確保
	地域を支えるための行政の支援推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の地域貢献活動参加の支援 ・ 地域活性化に寄与する職員等の派遣の推進
民間活力の導入による質の高い行政サービスの提供	適切な業務分担による外部委託の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の外部委託及び民営化の推進（保育園の民営化等）
	民間への情報提供及び事業参入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンデータの推進 ・ NPO、企業からの協働事業提案制度の推進



地域住民との連携による公共交通の維持・確保



若者の参画促進

市政改革プラン実施計画について（柱1）

地域住民との連携による公共交通の維持・確保



運転者不足、利用者の減少による路線バスの路線縮小が続いている

地域主体による有償運送や乗り合いタクシーなど地域の実情に応じた生活交通のあり方を検討



大和地区の共助交通のようす

若者の参画促進



美保南地区の夏休みサマースクールのようす

若者ならではの新しい発想で活動が活性化

若者が中心となって地域の課題解決を意識した企画



若者の参加による地域活性化
若者の新しい発想を生かして地域の課題を解決



明徳地区の文化祭イベントのようす（プロジェクトマッピング）

市政改革プラン実施計画について

柱2 時代の変化に即応できる組織体制の構築

施策	細施策	実施計画の主な取り組み
柔軟かつ適正な業務遂行のための職員力・組織力の向上	積極的な課題解決に挑む職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員のコスト意識の醸成やICTスキルアップ 職員提案の充実 
	誰もが働きやすく能力を發揮できる組織体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> フレックスタイム制度の導入 多様な人材登用の推進
	内部統制機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 組織内統制プロセス及び体制の整備 業務におけるリスクの洗い出し、課題の整理
働き方の見直しによる生産性の向上	時間外勤務の抑制に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> 適切な労務管理及び効率的な業務執行の推進 繁忙期の人的配置
	事務の共通化・集約化による事務執行の推進	<ul style="list-style-type: none"> 電子文書化の推進 支払い事務等の集約化 
	AI・RPA等の活用による業務の改革	<ul style="list-style-type: none"> AI、RPA、モバイルワークの導入 電子入札、電子申請の推進

市政改革プラン実施計画について（柱2）

女性活躍の推進



職員のキャリア形成の支援
 子育てを支援する環境づくり
 ワークライフバランスの推進

- 女性職員の仕事と家庭の両立についてのロールモデルの紹介
- 採用試験の案内に女性職員の声を掲載
- キャリアアップ研修を実施

AI・RPAの導入



RPA・・・
 ロボットによる業務の自動化
 パソコンでの機械的な作業をRPAで自動化

AI 議事録の運用



AI 議事録作成の流れ

市政改革プラン実施計画について

柱3 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立

施策	細施策	実施計画の主な取り組み
自主財源の確保と新たな財源の創出	税等の適正賦課及び収納率の向上	・債券の収納率向上 ・キャッシュレス決済の導入
	受益者負担の適正化	・使用料、手数料等の見直し
	市有財産の活用及び売却等の推進	・廃校の有効活用の検討 ・市有財産の貸付及び売却の推進
	新たな財源の創出	・クラウドファンディング活用の推進 ・企業版ふるさと納税の推進
公有財産の整理合理化と適正な財政運営の推進	戦略的な予算配分の推進	・補助金適正化の推進 ・投資効果を踏まえた事前評価制度の構築
	公共施設再配置の推進	・再配置基本計画に沿った施設のあり方検討の推進 ・公共施設の複合化や集約化の推進
	新たな事務経費削減手法の展開	・システムや庁内備品の共同利用の推進
	将来を見据えた計画的な財政運営の推進	・市債発行の抑制 ・中長期財政計画の策定と公表



キャッシュレス決済の導入



廃校の有効活用の検討

市政改革プラン実施計画について（柱3）

廃校の有効活用の検討



旧神戸小学校のようす

学校の統廃合により廃校
そのままと維持管理費ばかりかかってしまう

廃校を民間事業者により有効活用してもらう

貸付料収入が入るほか、地域の活性化にも期待



ふるさと納税の推進



鳥取市ふるさと納税
スペシャルサイト

共感を呼ぶ使い道や魅力的な返礼品を開拓して寄付額の増加を目指す



さまざまな事業に活用しています

新しい使い道「医療に関する事業」を追加

新規返礼品を追加



返礼品「炊飯器」の追加